# ななお

# NANAO CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY 会議庁だより

## 2022.1月号

No.613

https://www.nanao-cci.or.jp mail:office@nanao-cci.or.jp

★ 七尾商工会議所 検索 □ 売 □

七尾商工会議所検索







#### **CONTENTS**

<ul><li>●年頭所感····································</li></ul>	2~3
●新春インタビュー	4~9

●HACCP導入セミナー/SDGs市民大学/	
店舗演出・空間の作り方セミナー	10

• 1	地域振興委員会/のと・七尾共創塾/女性会だより	1 1
	トレンド通信/行事カレンダー	12

表紙写真: 神光 (能登島野崎町松島)

## 年頭所感



## 次世代の担い手育成と活躍の 場づくりにより地域の持続性に貢献

七尾商工会議所 会頭 大 林 重 治

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、令和4年の新春を健やかに お迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染が我が国で報告されて、早や2年が経とうとしております。かつて経験したことのない苦境の中で、事業継続と雇用維持のために懸命に経営努力を続けておられる経営者の皆様に深く敬意を表しますとともに、各界のご支援のもとで実施いたしましたワクチン職域接種に際して賜りました医療関係の方々をはじめとする多くのご協力に、改めて感謝申し上げます。

さて、コロナ禍に起因する大きな変化が、社会経済 の様々な場面で起き、各地域・各企業において新たな 時代への対応と持続可能性の確保に向けた取り組みが 行われるなど、今やアフターコロナが未来を拓くキー ワードになったかのような感がございます。 当地におきましては、産学官の連携により開講いたしました次世代の担い手となる人材の育成を目的とする「のと・七尾共創塾」をはじめ、持続可能な開発目標、いわゆるSDGsを通じて、地域や企業の持続性について学ぶ「能登SDGs市民大学」には、200人に迫る多くの若者が集い、活発な議論を行うなど、地域再生のイノベーションを目標に掲げ、中長期的な地方創生、持続的な能登七尾の地域づくりのために精力的に取り組んでおられます。

かつて、日本資本主義の父と称えられ、商工会議所の創設者でもある渋沢栄一翁は、利潤至上主義を戒めて道徳・経済合一を唱え、社会の可能性を追い続けられたことは、今日の社会情勢激変の時代の道標になるものと確信いたしております。

地域の産業基盤を支えるのみならず、経済を通じて 地域の持続的発展に貢献する中小企業が担うべき役割 は、かつてないほど高まっております。私どもは地域 経済社会の持続的な成長に貢献する使命を果たすた め、商工会議所活動の原点を深く認識するとともに、 環境変化に柔軟に素早く対応できる中小企業経営者の 強みを十二分に発揮すべく、部会や委員会等の会員活 躍の舞台を中心として産学官の連携を着実に推し進 め、能登の中核としての七尾の責務を果たすべく努め てまいります。

結びにあたり、当所の事業運営に対して、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 2022年 三村会頭・年頭所感「地域とともに、未来を創る」



## 日本商工会議所会頭三村明夫

明けましておめでとうございます。

2022年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。 昨秋以降、国内では新型コロナ新規感染者数が著し く減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速 化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜び たいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは 予断を許さないものの、商工会議所は、本年を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく 回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や 規模により回復度合いが異なる「K字型回復」の状況 が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開す るためにも、昨年政府が決定した「新たな経済対策」 の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について 明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道 筋を明確に示す必要があります。

第2次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守ることができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に対するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題 を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済 成長を図るためには、一国の豊かさを示す総合的な指 標である「1人当たりGDP」の引き上げを国全体の 目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在 成長率の底上げを図る必要があります。特に、雇用の 約7割を占める中小企業の生産性を引き上げること は、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重 要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を 支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、 デジタル化の推進、「S+3E」の原則を踏まえたバ ランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠 です。通商面では、TPPやRCEPの成果を踏まえ、同 じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本 が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべ きです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は

本年、特に以下3点について重点的な取り組みを実行 してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業の生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、越境EC等を通じた販路拡大、さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、大企業と中小企業で構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分かち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が4千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京 一極集中と言われますが、実際には一次産業の成長産 業化、インフラ整備を通じた製造業の集積、インバウ ンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、 東京圏よりも高い経済成長率を実現しております。コ ロナ禍を契機としたさらなる地方分散化の動きもみら れる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏ま え、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげ ていくことは、レジリエントな日本の国土形成のため にも不可欠です。商工会議所は、地域総合経済団体と して地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの 地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の100年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、515商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。



## 商工会議所の主なミッション

商工会議所の主なミッションは、地域の諸問題を解決するため、地域経済社会の代弁者として政策提言・要望活動等を積極的に展開し、その実現を図ることです。「地方創生」をはじめとした様々な課題を解決するため、全国の商工会議所や会員企業のネットワーク力を最大限に活かし、「現場主義」と「双方向主義」の徹底のもと、活動を展開しています。

<u>1</u> 政策提言

#### 一歩先んじた政策提言を展開

- ●会員訪問や部会や委員会、青年部、女性会等の各種会議を通じた会員企業との 積極的なコミュニケーション
- ●地域経済発展のための提言、中小企業の経営支援や観光・文化の振興、まちづくりに関する要望などの事業活動を通じ、産業と地域経済社会の発展に貢献

ュ 中小企業の 活力強化

#### 中小企業の成長への挑戦を全力で後押し

- 中小企業の経営課題へのきめ細やかな支援
- 創業・経営革新への挑戦支援
- 経済のグローバル化に対応するための中小企業の国際化支援
- ●検定事業を実施し、時代に対応した産業人材を育成

<u>3</u> 地域経済の 活性化

#### 地域の力を再生させる取り組みを強力に推進

- 「まちづくり3法」を活用した中心市街地の活性化支援
- ●地域資源を活用した産業振興、地域ブランドカの育成強化、観光振興
- ●地域コミュニティの維持、社会福祉の増進

出典:日本商工会議所資料から

## 産学官民が集い、動き出した 七尾商工会議所

七尾商工会議所 会頭 のと共栄信用金庫 理事相談役

重治 (おおばやし しげはる)



石の上にも三年と云いますが、今年 は3年目という任期の節目になる年で す。この2年間でコロナは、日本だけ ではなく世界中に大きなダメージを与 えたと思いますが、捉え方を変えると 一つのチャンスであったともいえま す。まだ厳しさは続くかもしれません が、その間にやった地域、やらなかっ た地域で大きな違いが生れて来ると思 うのです。金沢大学の松島大輔教授と のつながりから、能登の里山里海DX コモンズ構想が動き出し、地域通貨 SATOの実証実験、共創塾、そして SDGs市民大学には約190名の会員、 市民の皆様のご参加をいただき、私た ちの動きに呼応してくださる熱気を感 じ、これを活かす必要があると感じて います。国の財源にも限りがある中 で、非常に熱心にやっている、熱を感 じる地域には支援をしようという流れ も出て来る。自分一人ぐらい動かなく てもいいというのではなく、事を興す には、自ら動かないといけない時があ るものです。各部会、委員会が自分事 として捉え動いた結果、昨年の七尾商 工会議所は大きく動いた年であったと 感じています。また、市長も変わり、 行政と経済界が協力しやっていく流れ も確認できたところです。この流れを 新年度につなげ、方向付けをしっかり と行っていきたいと思っています。

## 若者がつながる七尾

先日「共創塾」の第1期が閉講しま した。私は塾頭を務めさせていただき ましたが、金沢大学の学生さん、七尾 市役所、民間企業から若手が参加し、 つながる良い機会になったと思います。 過去にこの前身として、10年間で約 200名の塾生を生み出した「人間塾」 がありましたが、その時に振り返りの 機会を持てなかったことが心残りでし た。役所と民間企業の若手が出会い話 す機会は、お互いの理解につながり、 七尾の未来につながるネットワークを 作り出します。学生がその中に加わる ことで、また前回の塾とは違う新しい 要素を生み出していました。今回塾生 それぞれがプレゼンを行いましたが、 今後先を見て組み立てたバックキャス ティングから、今自分に何が出来るか を考えながら動いていく、そのきっか けとなる場になったと思います。自分 で考えやっていくと、その時に思いが けない力を出す可能性があるものです。 この「共創塾」は、これからがスタート です。今後、2期3期…と続けていく ことになりますが、益々多くの若者が つながっていくことを期待しています。

## 七尾の温故知新・郷土愛を育む

昨年12月、3年ぶりに鵜の捕獲が 出来、国の重要無形民俗文化財である 「鵜様道中」が行われました。私も道 中に関わらせていただきましたが、気 多大社まで3日かけて40キロの道の りを歩く鵜捕部(うとりべ)たち3 人、その最年長者は80歳代で、他は 60歳代と40歳代とのこと。年齢を考 えると、今後こうした大事な文化、慣 習をどう保護していくかを考えなけれ ばなりません。最近手にした「一外交 官の見た明治維新」(アーネスト・サ トウ著)という本があります。イギリ スの青年外交官の体験記なのですが、 日本に開港を迫り、各地の沿岸部を回 り停泊地を探しに訪れた際、七尾は良 港であり、その時代の人口としてはか なり多く8000人と書かれていて、当 時の七尾の活気が伝わってきます。船 が唯一の交通手段だった昔と違い、今 は道路が出来、電車が走り、大分変っ てしまいましだが、それでももう一度 それを思い起こすことも必要だと感じ



ています。「故(ふる)きを温(たず) ね、新しきを知る」と云いますが、万 行遺跡や古墳、城山など、古くは縄文 時代から近代まで、七尾が残すべき歴 史や文化について考えると、それが忘 れ去られ無くなっていくのはもったい ない。自然の豊かさ、里山里海の幸、 歴史の重みという三拍子が揃っている 七尾について、小学生の頃から地域教 育を行い、郷土愛を育てることはとて も大切です。聞くことにより変わって くるものですから、そういった学び が、大人になり一旦は外に出てもまた ここに戻ってくる人を増やし、文化、 慣習、祭りの存続にもつながっていく のだと思っています。

## 新年の抱負

悲観的な事を考えるととても嫌な気 持ちになります。そうなった時にはど うするか絶えず頭に置いておかなけれ ばならないけれど、まずは何が起きて もいいように備えておく。コロナもい つまでも続くわけじゃないし、楽観視 し過ぎてもいけないけれど、それでも やるべき事はやっていく姿勢が必要で す。コロナが収束した時点で、やっ た、やらないの差は歴然と出て来ま す。それは企業だけではなく、個人と しても同じです。それぞれが自分のや るべき事をしっかりと行い、起こる事 をチャンスとして前向きに捉えていく と流れは変わっていきます。これから 世の中はガラリと変わっていくでしょ う。私たちの七尾を「あんな田舎で厳 しい所やけれど、なかなかやっとる な。なんでこんな変わったんやろう」。 周りからそう言ってもらえる地域にな るように皆で頑張っていきましょう。



## 行政と連携し七尾全体を動かす

七尾商工会議所 副会頭 株式会社スギヨ 代表取締役社長 **杉野 哲也** (すぎの てつや)

#### 昨年の振り返り

昨年もコロナで始まりコロナで終 わった感じが否めません。仕事におい ても商談のしづらさがありましたし、 海外への渡航も出来ませんでした。収 束の仕方もちょっと読めませんね。 10年トレンドという話がありますが、 マスクが取れるのがいつなのか考える と取れるきっかけが無いので、大げさ な表現ではないと感じています。皆で ワイガヤでお酒を注いだり回ったりと いう行為はまだ遠い先のようです。商 工会議所としては、各部会、委員会が 機能するところが散見され、いろいろ な動きが出始めてきたというのが成果 だったと思います。今までこれが出て こなかった。自分たちの仕事ではない、 そういう立場になった時にやろう、そ う思っていただろうけれど、自分の将 来を考えた時に、実行したりアイデア を出したりするのは若い人たちなのだ から。上の人に言われて動くのではな く、自分たちで交渉する姿勢を見られ たのが良かったです。今年は、次にど れだけの人を巻き込むかが課題だと思 います。もっと若い20代30代を高校 生をどんどん巻き込んで、もっと全体 のことを発信しながら七尾の未来を考 えていく。過去の経験から言うと、商 工会議所の体験も含め、挫折する可能 性もあるし、途中で達成感を持ってし まったらそこで終わってしまう。ただ、 上手くいくかどうかは分からないけれ ど、こういった話が出て、実際に行動 したところが良い。この集結したパワー をもう少し違う形で活かせるような仕 組みを仕掛けられたら、もっと大きく 動き出すだろうと期待しています。

## 行政との連携が皆をつなぐ力

たくさんのネタが上がってきているけれど、優先順位が付いていないと感じます。今、欠点だと感じるのは"市を挙げて全員が何か一つを達成していく"というものが無い事。行政がまずそこに立って、その下に商工会議所や商工会、女性団体などがぶら下がっていく。そうしないと、誰も自分事として聞いていないし、広がりが無い、そういう仕掛けを作る必要があると思います。

商工会議所がいろいろな意見を言っ てもいいけれど「この指とまれ」と なった時には、全員が一丸となって、 あらゆる業界がそこに結集し、事を成 し遂げるという世界を作らなければな らない。何か1つの目的のためにやる というスタイルを取って、そして1つ 成功すれば、達成感であったり、変化 を感じたりということで、じゃあ次に 違うことをやっていこうという話にも なる。小さくても良いから成功体験を 積み重ねることが大事です。目的が はっきりしていないと、手段が目的に すり替わってしまう可能性もある。ど う整理し、どう育てるか、どう継続さ せ、活性化させていくか、その辺のと ころをもっと詰めて話をしていく必要 があります。

行政も商工会議所も全部が動く、そういうプロジェクトがあったらいいけれど、昔と違い、今の地域住人の関係の希薄さを考えると、まちの祭りでは市民全体は巻き込めない。ただ、城山など何か大きな可能性持つものは必ずあるはずだし、地域の歴史、文化を学ぶ教育と絡めるなど、七尾市民全体を巻き込むテーマがあれば動き出す。それは今作らないとおそらくもう出来ないだろうから。

## 若手リーダーたちへ

若い人たちが動きやすいようにと考えた人事が動き出した1年でした。今回の能登の里山里海DXコモンズ構想も、いちいち質問し、良し悪しを判断していたら話は進まなかっただろう。渋沢栄一翁が商工会議所を作った時、諸外国から認められる国としてでありませるという志がありましています。若い人たちが動く仕組みを作るのに、今の形はも同様に硬直化しています。

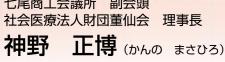
でも今、改革している地域の市長、 知事は皆若い人であるのが現実です。 諸外国を見ても、若いリーダーがどん どん出てきています。今の若い人が、 あと10年20年後にしかリーダーに成 れないならば、このまちはどんどん衰 退していきます。順番めいた形式化し たものを無くし、若い人がやりやすい 仕組みを皆で考えていかなければなら ないと思っています。

## 新年の抱負

我々のビジネスもそうだけれど、過 去の成功体験はもう通用しない。あら ゆる業態が過去の経験から、今あるも のに合わせていこうとしたところで上 手くいく確率は低いです。自分が一番 動いた、経験したと感じるのは、30 代の若い時。行動力、判断力があり、 傷が無い分チャレンジして失敗もたく さんして、後戻りする事も多かった。 先行きが分からないこんな時は、少な い情報で執着するのではなく、どう やってでも出来ることをやってみて駄 目だったら変える、どんどん変えてい けば良いのだから、打ち手は無限にあ るでしょう。若い人にとっては、失敗 も1つの肥やしです。スピード感を 持ってやっていきましょう、その前向 きなパワーに期待します。

## 虎穴に入らずんば虎子を得ず

七尾商工会議所 副会頭 社会医療法人財団董仙会 理事長





「能登SDGs市民大学」や「のと・ 七尾共創塾」などが動き出しました。 私の所からも「共創塾」に塾生として 参加させていただいたのですが、起業 家を育成するだけではなく、現在ある 企業も、必ず業態は時代と共に少しず つ変化させていく必要があるわけです から、そのヒントをいただける良いプ ログラムだったと思います。せっかく アイデアを出し発表した彼らが何も変 わらないのでは意味がないので、これ からフォローアップし、次にどうつ なげるかが課題です。行政との関係で いえば、今の市長はフットワークも良 く、いろいろな所に顔を出していた だけて協力体制が出来てきています。 「能登の里山里海DXコモンズ構想」に ついては、一部の尖がった人だけが分 かるというのではなく、これから本当 に市民のメリットになる"こうなるん だよ"という好事例、具体例をどんど ん発信していく広報戦略に力を入れる ことが大事だと思っています。SDGs もDXも横文字ばかりで難しいから、 もう少し浸透しやすい分かりやすい言 葉が欲しいですね。DXは単なるデジ タル化ではなく、仕組みを変えるとい うこと。仕組みそのものをどう変える かにかかっていると思いますので、今 年はその具体化の年にしなければなら ないと感じます。

#### 七尾を取り巻く環境

国土交通省に地域生活圏という、全 体人口10万人ぐらいの生活圏の中で、 伝統、文化、教育、医療、産業が完結 できる所にDXを推進すると移住対象 になるという構想があり、七尾に中能 登町、志賀町を入れるとちょうどそれ くらいの人口になるのですが、この地 域は戦国時代から戦前まで大都市だっ たこともあり、七尾には人様に誇れる

伝統文化があると思っています。その 歴史を持った上でDX化、また世界農 業遺産と絡めると面白いものになる。 昨年も言ったけれど、もたもたしてい たら人は少なくなるし、寂れてきてし まう。今の内にそれを伸ばすようない ろいろな作戦を起こしましょうという 思いがあります。そうなると、七尾は 面白そうと思って来てくれる人が増え るのではないでしょうか。コロナ禍だ からこそDXは進み、もうそのスピー ドが緩むことはないと思います。現状 の七尾に危機感をどれほど持っている でしょうか。客観的にみて、これから 高齢者もそんなに増えず、若者も減っ ていく、そんな世界を誰も経験したこ とがないわけです。若者から年金を貰 う日本の制度は成り立たなくなり、い ろいろな産業に若者がいなくなる。企 業の存続は?交通手段は?祭りは?そ う考えた時、シニア、女性の活躍を推 進するためにDX化で仕組みを変えて、 システムを使って最大の生産性を作り 出さないと地域が保てなくなります。 我々は今"未来の国にいる"わけだか ら、東京よりも早く危機感を持ち、東 京の見本として、未来の国としてやる べき事をやらなければなりません。東 京に出来ないことを先んじてやってい きましょう。ピンチはチャンスなので すから。

## 虎穴に入らずんば虎子を得ず

今年は寅年です。"虎穴に入らずん ば虎子を得ず"ということわざがあり ますが、何もしなければなんともな い、安全ですよね。だけど、リスクを 冒さないと成功はしない。このことわ ざは少し残酷で、虎の児の皮は、親よ りも柔らかくてふわふわしているから 高価なので、虎児の毛皮を捕りに行く と大儲けをするという話。やっぱり危 険でもリスクを冒さないと貴重なもの



は手に入らないのです。今までのやり 方を変えないとならないし、どこにど う投資するか、何かに集中させないと 変わらないと思っています。社会イン フラの整備としてWi-Fi敷設が進まな いことには忸怩たる思いなのですが 「それどこでやってるんですか」とい う話ではなく「どこもやってないなら やろうよ」という気概が必要です。た くさんチャレンジをしてみないと、最 初から駄目だという話ではないですよ ね。地域通貨SATOの実証実験はよく やったと思います。次は、どう広げて いくかですね。利用させていただくな らば、ボランティアをしていただいた 時にSATO数ポイントをあげるとか、 1ポイントは安いかもしれないけれ ど、それくらいなら皆さんも出せるの ではないでしょうか。そういった形の 地域通貨になればスポンサーもつくの ではないかと思います。

## 新年の抱負

「昔このまちはどんなまちだった。」 そんなところから子供に話を始めても 良いかと思いますが、私もだんだん七 尾の語り部のようになってきました。 城山や山の寺、長谷川等伯の松はどの 辺りにあったのか、鵜様道中など、七 尾には誇れる歴史、文化がたくさんあ ります。あるものをもっとうまく使 い、活かしていけば良い発信が出来る と思います。皆さんは、今の七尾の現 状をどう考えているのでしょうか。も し先のことをどう思うか聞いたら、そ んなに明るい未来を誰も言わないと思 うのです。「危機感を持ちましょう」 皆待っているだけではなく、次の行動 に移さないとならない時ですよ。



## 地域通貨クリプトキャッシュを 根付かせよう

七尾商工会議所 副会頭 株式会社赤畄商会 代表取締役社長 赤 喜久造 (あか きくぞう)

## 昨年の振り返り

昨年は、大きく七尾が動いた年にな りました。

一昨年11月、七尾商工会議所の講演会で金沢大学の松島大輔教授にご登壇いただいたことをきっかけに、能登の里山里海DXコモンズ構想が動き出しました。「SDGs」「共創塾」「地域通貨SATO」など、松島先生とのつながりが原動力になったと思います。

七尾市長も2年目を迎え、市と商工会議所との意見交換会も行われ、経済界とのつながりを考えて下さっているように感じます。市と会議所が組むことは、地域にとって大事なこと。今後も良い関係性が続くことを期待しています。

会議所の若手のメンバーの皆さんが、松島先生と話し合い、七尾のグランドデザインを描き出し、金沢大学の学生たちとつながり、今の流れを作ってきました。世界を見ると、ミレニアム世代\*より下のZ世代\*が中心にせの中を動かし、COP26\*においても問題提起をしています。僕らには無いを動きを感心しながも見ていました。七尾も同じで、これまでの2年間、彼らの"七尾の皆のために"という動きを感心しながら見ていました。もちろん、部会や委員会も同じで、こんいるのを頼もしく思っています。

## 一つ上のグランドデザインを持つ

富山市の森雅志前市長のご講演をお 聞きする機会がありました。"まちの 真ん中にもう一回人を呼び寄せよう" というグランドデザインを25年かけ て作り上げてきたのです。僕は、今描 いている一つ上のグランドデザインが 七尾市には必要だと思っています。本 当に30年後50年後にどうあるべきか という大きなグランドデザインを描く のが大事なのではないかと。今やって いるいろいろなものは、その中で動く ものであっていい。そして、その大き なグランドデザインを、今の会議所メ ンバーやもっと若いメンバーも入って きて、その人たちで描いて欲しいと 思っているのです。

七尾の将来を動かすのはやはり若い人たちです。彼らが構想を描き、僕たちがサポートに回るぐらいで丁度良いのではないでしょうか。いわゆる北極星を立ち上げて、そこからバックキャスティングする。そうすると七尾の未来が見えてくると思います。

## 地域通貨SATO×クリプトキャッシュ

松島先生と"DX構想をやるなら地域通貨がいるね"との話からすぐに、金沢での中村宇利(たかとし)先生の地域通貨の講義にお誘いをいただきました。今後の地域の発展には地域通貨が欠かせないと考えていた矢先の話で、ハッキングされないクリプトキャッシュ\*について、素晴らしいシステムをご紹介いただけたと思いました。SATOは、このクリプトキャッシュというテクノロジーを基盤とし

た、世界初の地域通貨の試み。七尾 市、近隣の市町村、石川県を巻き込む ことが出来れば、そこから、全国へと これを広げる可能性が出てきます。市 が要となって金融機関も入ると信用度 が増します。地域通貨には大きな可能 性があり、ボランティア活動や困って いる人への支援や寄付にも使え、市が 動けば税金もこれで納められるように なるかもしれない。氷見商工会議所が chiicaと連携して「ひみPav」いう地 域通貨を運営していますが、それは "ふるさと納税"をやっている企業と の連携で、全国的にもこのパターンが 多いのですが、他とは違った形で、年 末に七尾で「地域通貨SATO」の実証 実験が行われたことは、今年度への起 爆剤になったと思います。

## 新年の抱負

このデジタル通貨であるクリプト キャッシュを、七尾に根付かせること が大事なポイントになると思っていま す。現在、金沢大学で実証実験の結果 をまとめており、確認後、次にやる事 が決まっていきます。松島先生のDX コモンズ構想は、コモンズ(共同)、 ダイバーシティ(多様性)、グリーン リカバリー(環境復興)などに配慮し た考え方であり、世界的なスタンダー ドです。これからの未来を考える時に 必要な視点であり、この地域の道標に なるものだと思っています。「無不要」 不要なものは無い、という意味で、私 が大切にしている言葉です。今、七尾 は大きく動いています。皆で七尾を 変えていきましょう、お力添えくだ さい。

<sup>※</sup>クリプトキャッシュ:暗号貨幣のこと。信用確認(決済、管理、貯蓄、保管、真贋機能)の機能を持っていて、ビットコインなどの仮想通貨によくある不完全な暗号技術によるブロックチェーンの盗難やハッキングの心配がないため、世界初の「完全暗号」で作られたデジタルマネーと云われている。

<sup>※</sup>ジェレミー・リフキン:経済動向財団代表。メルケル独元首相をはじめ、

世界各国の首脳・政府高官のアドバイザーを務める。広い視野と鋭い 洞察力で経済・社会を分析する経済学者(著書:限界費用ゼロ社会) ※COP26:2021年11月に英国グラスゴーで開催された国連気候変動 枠組条約第26回締約国会議。

<sup>※</sup>ミレニアム世代・Z世代:ミレニアム世代(1980-1995生まれ)Z世代(1996-2012生まれ)

## 七尾のコアコンピタンスを考えよう

七尾商工会議所 副会頭 株式会社地域みらい 代表取締役

**北原 良彦** (きたはら ょしひこ)



能登の観光や地域交通の課題の解決 を目指す能登MaaS (マース)\*は、能 登半島広域観光協会を母体とした協議 会を作り、交通事業者、観光事業者と ともにいくつかのプロジェクトを行っ ています。交通と観光を組み合わせる ことにより、移動や観光が行いやすく なります。交通検索のソフトはたくさ ん開発されていますが、まずJR西日 本のWESTER(ウエスター)と連携 して事業を行うことを考えています。 理由は、JRは北陸の基幹交通手段で あること、今私たちが抱えている大き な問題として七尾線の存続が挙げられ ること、また、新幹線延伸の際に福井や 敦賀と連携して、能登や金沢もしっか りやっていかなければという思いから です。これが大きな柱となり、今年 は、交通事業者や観光事業者と一緒に 実証実験が出来ればと考えています。

IT化について、全体での取組みと各 企業での取組みに分かれるという話を しましたが、各企業に関しては進んで きていると感じます。弊社に関しては クラウド化が進み、本社支社とのやり 取り、リモートワークへの対応など 様々な取り組みを行っていますが、そ の際、社内の若手を中心に情報化プロ ジェクトチームを立ち上げ、具体策を 考えてもらいました。先日行われた 「共創塾」にも3人の社員が参加しま したが、コアコンピタンス\*を考える 課題がありました。その塾の成果をい かすべく、彼らそれぞれが考えた未来 を今度は会社全体で考え、会社のコア コンピタンスを明確化する。そういっ た視点で次につなげていきたいと思っ ています。「共創塾」は、今後も大き なつながりを作り出し進んで行く事業 です。そこで学んだことを会社に落と し込み活かしていき、活用していくこ とが大事だと思います。

#### 七尾SDGsが動き出す

SDGsは意識変容と行動変容を促す もので「地球環境のために持続可能な 社会となるよう皆で取り組んでいこ う」というのが一番の心だと思ってい ます。七尾の若手がコンソーシアム\* を立ち上げ構想を作っていて、今後 「SDGs未来都市\*」への応募を視野に 入れて頑張っています。能登SDGs市 民大学には多くの参加があり、今、市 民意識を醸成しているところです。市 民や行政の方々にご理解をいただき、 気付いたらやっていたという風な"そ の気にさせる"ことが大事なのだと思 います。地域独自の目標やインジケー ターを作り出すこと、七尾のコアコン ピタンスを考えると面白くなる。我々 の得意な事をどうやって高めていくか を考えると、市民皆がやる気になりま すよね。SDGs市民大学を通じて、意 見を集めて決めていく、今年はそれを 皆で考えていこうということです。構 想だけに終わらず実現化するという共 通認識で、商工会議所としてもきちん とバックアップしながら進めていきた いと考えています。

#### 大学との連携

昨年度の七尾商工会議所は、部会や委員会の組織変えにより動きやすくなることで大きく変化したと感じます。その中でも、金沢大学など外部との交流は、発想も、やる事も変わってきますから、力になったと思います。SDGsも能登の里山里海DXコモンズ構想も、



た。学び続けない限り、個人も会社も 地域もうまくいかない。今、社会人の 学び直し"リカレント教育"が重要に なっていますが、企業の中だけで人材 育成をしようとしてもなかなか上手く いきません。そこは外の力を借りると か、今ならSDGsを取り入れるなどし ながら競争力を高めていくことが大事 です。経営者や社員が勉強した会社は 伸びるし、反対に勉強しないとどんど ん置いていかれてしまう。会議所とし ても、そういう勉強する場を数多く提 供していく姿勢が必要だと思います。 大学とのつながりが出来たのだから、 学生さんにも入っていただいて、地域 の中でいろんな形で混ぜ合わせてい く。それが今後の七尾商工会議所の大 きな役割になっていくように思います。

## 新年の抱負

今、七尾商工会議所は若手が動いています。この動きそのものが一つの大きな達成だと思っていて、この動きをもっと活性化させて、次につなげていくことが大事だと考えています。「共創塾」や「SDGs」の下、皆で勉強していこう!という気持ちを持ち、という気持ちを持ち、という気持ちを持ち、という気持ちを持ち、というはいるようには高と地域は停滞していきます。を1つの旗印としていきます。動きではないても一緒、面白い事をやっていきます。を1つかるようでであると地域は停滞していきます。を1つかくの時間ならいろんな事によっかくの時間ならいるようにしまります。

<sup>※</sup>コンソーシアム: 互いに力を合わせて目的を達成しようとする組織や 人の集団。共同事業体。

<sup>※</sup>SDGs未来都市:持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組の 推進に当たり、SDGsを原動力とした、地方創生を推進するためのプロジェクトのひとつ。

<sup>※</sup>コアコンピタンス:他社と差別化でき、競争力の源となる独自の中核

になる強みのこと。

<sup>※</sup>MaaS (マース): Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) の略語。フィンランドで「人々の移動を根本から変えるサービス」として登場し実現。バスや電車、タクシー、飛行機など、すべての交通手段による移動を一つのサービスに統合し、ルート検索から支払いまでをシームレスにつなぐ概念である。

## "HACCP"食品の安全性確保の取り組みを"見える化"

#### ~ お客様に更に安心してご利用いただける製品を作り上げましょう!~

七尾商工会議所・ななお経営支援センターと石川県工業試験場は昨年12月6日月、当所において、食品製造業者・飲食店・旅館業等向けの『HACCP(ハサップ)導入セミナー』を開催しました。

講師は、一般財団法人石川県予防医学協会のHACCPコーディネーター四津陽子氏が務めました。食堂、食品製造、水産物加工、旅館、ゲストハウスを営む5事業者9名が受講しました。

本セミナーは、同年6月1日に「改正食品衛生法」が施行され、食品関連事業者の『HACCP(国際的な衛生管理手法)』導入が義務化されたものの、まだHACCP導入に取組んでいない又は取り組んではいるがこれまでの衛生管理とどのように異なるのかがよく分からない等の事業者に向けたHACCP導入の基礎を学ぶものです。

四津講師は、HACCP導入には小規模な一般飲食店の衛生管理の基礎を学ぶことが、どの食品関連事業者にも共通であるとして、公益財団法人日本食品衛生協会が著している「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書(小規模な一般飲食店事業者向け)」に基づいて、更にやさしくわかりやすく衛生管理の基礎とポイント等を解説しました。

まず、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理とは、食中毒予防の三原則(つけない・ふやさない・やっつける)を基本に、今取り組んでいる衛生管理とメニューに応じた注意点をあらかじめ衛生管理計画として明確にし、実施

し、記録する、この一連の作業を行うことです。四津講師は、「これまでとは全く異なる対応ではなく、計画や記録により、衛生管理を"見える化"することです」と基本中の基本を強調しました。

この"見える化"の三つの手順として、どの業種にも共通な①衛生管理計画を作る、②計画に基づいて実施する、 ③実施した内容や対応の記録、への取り組みが必須である としました。

次に、三つの手順のうち、①衛生管理計画を作ると③実施した内容や対応の記録の実践として、基本的な標準シートを使って簡単な演習を行い、実務上の運用や負担感を体感しました。

なお、県工業試験場からは食品科学部の吉村慶之部長と 笹木哲也専門研究員、県予防医学協会からは環境検査部渉 外チームの浅井紀三夫シニアリーダーが参加され、セミ ナーのサポートをいただきました。



## 能登SDGs市民大学 第3回講義

ななおSDGsスイッチ主催による「能登SDGs市民大学」の第3回講義が開催されました。株式会社クレアンから薗田綾子先生を講師にお招きし、「誰一人取り残さない」というSDGs全体の理念について、ダイバーシティ&インクルージョンの観点から、持続可能な七尾市の姿を受講生が導き出すグループワークを実施しました。



## 制度改正に伴う専門家派遣事業 店舗演出・空間の作り方

## ~感染症を防ぐための店舗レイアウトについて解説します~

12月21日(火)、当所にて江戸小紋空間デザイン代表であり空間コーディネーターの小林暢世氏を講師に迎え、コロナウイルス対策セミナーを開催しました。

講師の小林氏は、新しい生活様式を意識した店舗対策に 大事な事は、接触感染と飛沫感染を防ぐこと、換気(給気と排気)が大事である。また、室内の対角線上に給気と排 気の通り道を作るのがベストであるが、どうしてもダメな 場合は室内で送風機やサーキュレーターなどで換気をする ように心がける事が大事だと話しました。

新しい生活様式と店舗運営アイデアについても事例を交えてわかりやすく説明し、集客を考える時に必要なポイントをわかりやすく説明していただきました。

参加者からは、今回のセミナーで聞いたことを自店に持ち帰り早速実践するといっていただいて講演会を終了しました。





## 七尾市議会産業建設常任委員会長を招き、地域振興委員会

地域振興委員会は12月2日(水)、当所にて委員会を開催し、田村行利委員長は、講師としてご出席いただいた七尾市議会産業建設常任委員会委員長木下敬夫議員へのお礼の言葉のあと、「有意義な委員会とするため、各委員に積極的な意見をお願いしたい」と挨拶しました。

委員会のゲストである木下委員長は、令和3年度の予算 案と主要施策の概要の進捗状況、石川県への要望等につい て述べられました。

委員からは、七尾市に事業を行っている事業所を優先的 に行政事業の発注をして欲しい等、積極的な意見が出され ました。 閉会の挨拶を、井田壮紀幹事が述べ、委員会は閉会しま した。



委員会にて講話する木下委員長

## 第1期「のと・七尾共創塾」が閉講

当所は12月11日出、能登食祭市場研修室で、第5回のと・七尾共創塾講義を開催しました。

第1期最終回となる今回は、塾生が自分の目標や所属する組織の強み、事業を持続させる仕組みを発表しました。

発表を受けて、茶谷義隆市長は「常識にとらわれず、今後も新しい発想で七尾の発展にご尽力いただきたい」と述べ、大林会頭は、「発表は終わりではなく、スタートだと思って世界を目指してほしい」とエールを送りました。

閉講式では、大林重治塾頭から浜田宏勝塾生が、代表して受講証書を受け取り、今期のと・七尾共創塾は幕を閉じました。

閉講式後の塾生の記念写真







## 石川県商工会議所女性会連合会会員大会 七尾で開催

石川県商工会議所女性会連合会の会員大会が12月7日 (火)、和倉温泉加賀屋にて開催されました。県内商工会議所 女性会の約150名が参加し、当女性会からは、沢野千穂子 会長他40名が参加しました。

石川県商工会議所女性会の嵐清美会長(小松商工会議所)は、「女性の自由な発想で地域活性化につなげたい」と呼びかけました。石川県知事代理細川喜孝石川県商工労働部次長、大林重治七尾商工会議所会頭にご祝辞をいただき、先立つ交流会では、茶谷義隆七尾市長にご挨拶をいただきました。報告事項では、令和2年度事業報告・収支決算、令和3年度事業計画・収支予算の報告をしました。

記念講演会では、正派若柳流若柳会会長 若柳宗樹氏に「私の人生日本舞踊一筋」と題して、ご講演をいただき、冒頭、『「常磐津」菊の栄』の舞をご披露いただきました。日本舞踊においての、自身の経験から、技術や動きの基本等、事細やかにお話しいただきました。会終了後、のと鉄道観光列車「のと里山里海号」に乗車したほか、山の寺寺

院群の本延寺を視察しました。

塾生代表

浜田宏勝さん

当女性会では、女性会会員の皆さまをお迎えするにあたり、1月より、新聞バッグの制作に取りかかりました。また、会場には、20枚近くの女性会メンバーの「花嫁のれん」を展示し、会場を華やかに彩り、来場者を楽しませました。



▲講師 若柳宗樹氏

#### ▼花嫁のれん前で記念撮影



## 世界の食通が注目する『アニマルウェルフェア』を取り入れたとんかつ屋

先日、高知県で木工製品を手掛ける事業者さんが、 「近頃どの商談会に行っても、この商品にSDGsの要 素があるか最初に聞かれる」と話していました。そも そもその要素がないと、商談のスタートラインにすら 立てないと嘆いていました。こうした世界的な物事の 考え方の潮流が地方の小さな事業者のビジネスそのも のに大きく関わってくる時代なのだと思います。

そういう意味で今後注目すべき動向の一つに「アニ マルウェルフェア」があります。「動物福祉」などと 訳されるこの言葉は、家畜の飼育方法について虐待し ない、飼育環境を整えるなど飼育管理に配慮を求める もので、国際獣疫事務局(OIE)が勧告したもので す。SDGsの17のゴールにはじかに動物福祉に触れ たものはありませんが、食料分野や環境分野など関連 する項目はいくつもあります。

今後も世界的なトレンドとなって、国内でも実施を 強く求められるようになるのは確実です。もともと生 産効率重視とは一線を画する考え方なので、関わる事 業者にとっては当然コストアップの要因になります。 世界的な捕鯨禁止の動きと日本の食文化の例を見て も、こうした話は理屈というよりも思想の違いなの で、考え方はどうであれ現実的にビジネスが大きく影 響されるのは間違いありません。

ではどうすればいいのでしょうか。私が注目したの は最近、東京・表参道に開店したあるとんかつ屋で す。この店は開店1年でミシュランガイドに掲載され た高田馬場のとんかつ屋を手掛けた人がつくったもの で、まもなく世界の食通から注目される店になると思 われます。

この店は、全国からいくつかの銘柄豚を選んで提供 しているのですが、お店のホームページには、それぞ れの豚がどのような環境でどのように育てられたかの 情報を掲載しています。そこには、豚肉の特徴や味わ いなどとんかつに直接関わる要素の解説だけではな く、アニマルウェルフェアや育成方法にサステナブル な環境配慮の仕組みを取り込んだ生産者の話もあり、 SDGsに関心の高い人を顧客にしたいというお店の意 図が感じられます。

お客さんにとって単なる食事の味やサービスだけで ない部分を付加価値として納得してもらうように情報 発信をしているのです。これまでの食のブランドづく りでは、まず商品の機能(味や物の良さ)を伝え、次 に歴史やつくり手のこだわりの技術などのストーリー を重視してきました。さらにこれからは、扱う原材料 の生産方法や、それに関わる人たちの働き方までもが 問われるようになってきます。

実はこうしたトレンドへの対応力は、効率的な大量 生産を前提とした大企業よりも、地方の小規模事業者 のようなスケールを追求しないビジネスの方が向いて います。ですから、小規模事業者にとって、高付加価 値をきちんと評価してくれる顧客とつながるチャンス だといえます。

日経BP総合研究所 上席研究員

#### プロフィール

日経BP総合研究所 上席研究員。1986年筑波大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年日本経済新聞社入 社。IT分野、経営分野、コンシューマ分野の専門誌編集部を経て現職。全国の自治体・商工会議所などで地 域活性化や名産品開発のコンサルティング、講演を実施。消費者起点をテーマにヒット商品育成を支援してい る。著書に『地方発ヒットを生む 逆算発想のものづくり』(日経BP社)。

## 行事カレ ンダ

0

<b>■ January</b>		
工業部会 視察研修会	C	3
北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会 第3回役員会・令和4年度第1回役員予定者会議 七尾の未来構想委員会		
経営指導員研修 特別コース 「能登SDGs市民大学」第4回講義	c	-
販路開拓に繋がるチラシ・DMのつくり方セミナー		
正副会頭会議 4団体新春懇談会		
石川県商工会議所青年部連合会 役員会·臨時総会·懇親会 七尾商工会議所青年部 1月定例会	- 1	
サービス業部会セミナー		
	工業部会 視察研修会 北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会 第3回役員会・令和4年度第1回役員予定者会議 七尾の未来構想委員会 経営指導員研修 特別コース 「能登SDGs市民大学」第4回講義 販路開拓に繋がるチラシ・DMのつくり方セミナー 正副会頭会議 4団体新春懇談会 石川県商工会議所青年部連合会 役員会・臨時総会・懇親会 七尾商工会議所青年部 1月定例会	工業部会 視察研修会 北陸信越ブロック商工会議所青年部連合会 第3回役員会・令和4年度第1回役員予定者会議 七尾の未来構想委員会 経営指導員研修 特別コース 「能登SDGs市民大学」第4回講義 販路開拓に繋がるチラシ・DMのつくり方セミナー 正副会頭会議 4団体新春懇談会 石川県商工会議所青年部連合会 役員会・臨時総会・懇親会 七尾商工会議所青年部 1月定例会

#### 青年部全国大会実行委員会役員予定者会議 2(k)3(水) 4余 5(土) 6(日) 7(月) 8(火) 女性会新春会員懇談会 青年部理事会

**2**月 February

## サイバーセキュリティ対策セミナー 9(K) 10休 11金 12生 13(日) 14(月) 15(火) 七尾の未来構想委員会